



## 激レア！ 横須賀基地で潜水艦内見学



自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 澤1尉）は12月9日、海上自衛隊横須賀基地において、横須賀地方総監部及び第2潜水隊群司令部の支援を受け、基地見学を実施した。

本イベントは、既に選抜試験に合格している方や新規募集対象者に海上自衛隊の職場のイメージアップと自衛隊の理解促進を目的として実施した。なかなか体験することのできない潜水艦や護衛艦の中が見学できるということもあり、集合時間が早朝だったにもかかわらず多数の応募が寄せられ、関心の高さを伺うことができた。

潜水艦「うずしお」では、発射管室・発令所・食堂・機械室・電動機室など、各層をじっくりと見学することができた。対象者は、潜望鏡で全周を眺めたり、発令所の照明を赤灯に変更して夜間の状況を体験したりと、思い思いに見て触れる体験を楽しんでいた。また、発射管室の魚雷の下のベッドを見て「こんな狭いところで眠れるのですか？」と目を丸くして驚く対象者もいた。

その後、海上自衛隊の食堂で食事をとり、曳船に乗船して湾内をクルージングしたほか、護衛艦「いかすち」の操舵室では特別に艦長席に座って双眼鏡を構えた姿を記念撮影するなど、皆さんに貴重な思い出を持ち帰っていただくことができた。豊島出張所は、今後も様々なフオーローイベントを通じて、自衛隊の認知度向上と理解促進を図っていくとしている。



## 防衛省・自衛隊オフィスツアー開催



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は、令和6年4月から12月にかけて、自衛官としての将来像（目標等）を明確にし、入隊を志す参加者に志願の意志固めを促すことを目的として、大学生を対象にオフィスツアーを実施した。

ツアーでは司令官や部隊等で勤務する幹部自衛官（一般大卒）との懇談や高級幹部自衛官（一佐クラス）の講話を軸に、キャリアパスを理解できるように計画されたものであり、大学生の積極的な質問や活動を見ることができ、価値がある充実したツアーであった。また、ツアー参加者延べ懇談を行った。特に防疫大説明57名の内、約7割が入隊を志しており、災害派遣での人助けが入隊動機も多くを占めていた。十年程前と異なり、現在はこれに加えて、「新領域（サイバーなど）」への挑戦にも興味を示しており、我が国の防衛へと関心が拡大している事が伺えた。

参加者からは、「進路を考えるうえで貴重な機会であった。」「現役隊員との懇談で、入隊後のイメージが湧いた。」などの感想が聞かれた。

東京地本は、今後も将来の幹部自衛官となる人材確保はもとより、対象者に寄り添った募集・広報活動を上級司令部等と連携しながら実施し、本事業の充実・発展を図っていくとしている。

